

診療科・部門案内

泌尿器科では、迅速な診断と治療を目指して、日々診療活動を行っています。豊中市内、市外を問わず、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんの診療を行っています。

【特殊専門外来】

●**腫瘍外来** 毎週水曜日午前—毎週水曜日午後
腎がん、腎盂尿管がん／膀胱がんなどの尿路上皮がん、精巣腫瘍、前立腺がんなどの、悪性腫瘍の診断治療を主に行っています。

●**前立腺外来** 毎週月曜日午後
かかりつけ医で測定されたPSA検査結果をもとに、前立腺がんや、前立腺肥大症に対する診断治療を行っています。

●**排尿・性機能外来** 毎週金曜日午後
排尿障害は、尿道に前立腺肥大や尿道狭窄がある場合にも起こりますが、糖尿病や脳梗塞、さらに脊髄疾患などに起因する神経疾患でも、正常な排尿が出来なくなることが知られています。排尿および性機能に関する疾患全般に対して、診断治療を行っています。



●**結石外来** 毎週金曜日午前—毎週金曜日午後
当院の救急外来には、尿管結石が原因で救急搬送されてくる方も多く、泌尿器科でも多くの患者さんを診療しています。尿管結石は4mm以下で、自然排石を期待できる場合には近隣の開業医の先生にも対応していただき、自然排石が期待できない結石に関しては、衝撃波治療(ESWL)や経尿道的内視鏡手術を積極的に行っています。

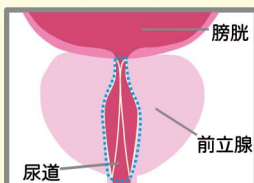
【年間手術件数 723件】平成23年度

- 後腹膜腫瘍、副腎腫瘍、腎がん、尿管がん…開腹手術 24例、腹腔鏡手術37例
- 前立腺疾患…前立腺全摘除術 68例、経尿道的前立腺切除術74例
- 膀胱癌…経尿道的膀胱腫瘍切除術 198例、膀胱全摘22例
- 結石手術185例 ●小児疾患18例

なるほど納得!
豆知識

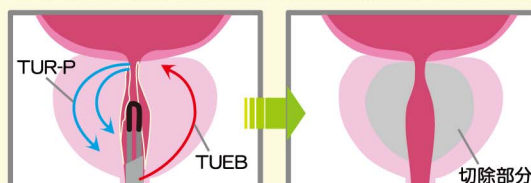
経尿道的前立腺核出術 (TUEB) とは

前立腺肥大症の手術は、尿道から内視鏡を用いて前立腺を削るTUR-P（経尿道的前立腺切除術）が主流でした。しかし、肥大が大きい場合、手術時間の延長にとともに、出血量の増加とTUR症候群（悪心や血圧低下）の発生がありました。



前立腺肥大症

肥大した組織が尿道を圧迫し、尿が出にくくなります。



経尿道的前立腺核出術 (TUEB) は尿道から内視鏡を挿入し、前立腺肥大症部分を核出（くりぬく）します。核出した前立腺は膀胱の中で特殊な機械で細切して体外に取り出します。くりぬくことにより、前立腺肥大症を確実に取り除けます。

長所

- 出血がほとんどない。
- 合併症が起きにくい。
- 入院日数の短縮。

当院では北摂地域としては最も早くTUEBを取り入れ、出血量が少なく治療成績の良い術式として注目されています。

前立腺肥大症治療 TUEB